

JR富士川駅エレベーター 大きな光り

エレベーター設置にかかる富士市の負担が、1/3になる月間平均乗降客基準が現在は3000人(昨年度富士川駅2960人)でしたが、この基準の見直しが検討され、「平均利用者数2000人以上が目標」となる中間報告が取りまとめられました。(令和2年7月3日付国土交通省総合政策局安心生活政策課Press Releaseより抜粋要約) 今後、最終報告を経て、具体化すれば、旧富士川地区にとりまして、大きな光となります。

議員、地区諸団体共々相協力して、実現に向け推進してまいります。

証実験を行っていただき、今後の柔軟な情報収集も注視してまいります。

レジ袋を燃えるゴミ専用袋として有効活用を

レジ袋の有料化に伴い、買物はエコバッグが中心となり、レジ袋の使用量は大幅に減少している。

1. レジ袋に燃えるゴミ専用袋として使用できる認定基準を設ける。
2. 認定基準の中に、透明、半透明の袋で企業名が入っていることを許可する。
3. 燃えるゴミ専用袋として、認定されていることを

表示させ、他店のレジ袋と差別化を図る。(例えば黒字で「富士市指定袋」)

4. 使用できる袋の品質基準、容量を現在の使用しているゴミ袋の仕様範囲に合わせる。

上記提案以外にも、検討されることは多々あるかと思いますが、近隣の自治体でも実施していることを踏まえ、本市においても実施することで市民サービスの向上とエコ活動に結び付けてはいかげでしょうか。当局の見解をお伺いします。

当局見解
現在、国や地方自治体、業界を挙げて、プラスチック製レジ袋の削減に取り組んでいる状況にあるので、活用することは考えていない。

ある大都市と大手コンビニ店はレジ袋として利用可能な「指定可燃ごみ袋」を販売し、指定可燃ごみ袋を買い物袋として、使用することで、レジ袋の総量を抑え、プラスチックごみ削減につながる実

たしました。しかし、レジ袋の利用がなくなつたわけではなく、今後も一定の割合で利用され、廃棄物として処分される中で、海洋プラスチック廃棄物になってしまふレジ袋もあるかと考えられます。

本市は十数年前までレジ袋を「ごみ袋」として使用していましたが、現在は富士市指定の黄色の燃えるゴミ専用袋を使用しています。使用状況のなかでレジ袋に入れた燃えるゴミを黄色の専用袋に入れて出すことも多く見受けられます。

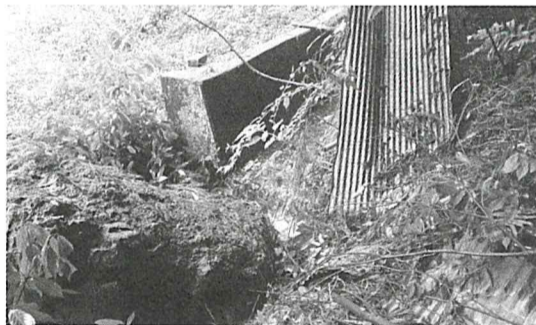
このレジ袋を燃えるゴミ専用袋として再活用することで燃えるゴミ専用袋の使用量を減らし、エコ対策と全体的な経費の削減に繋がると考えます。運搬収集の利便性、供給元であるお店側の経費増等を考えひと工夫、ふた工夫する必要がありそうです。左記内容を提案し、ご所見をお伺いします。

治山治水

① 有無瀬川

前回、早期に川絵図が作成されると考えておりましたが、清水町から有無瀬川に入る行者川を本格的に整備する必要がありますが、別途要望したため、この調査も含めた形となり、延びております。年内には地域の皆様に見ていただければと思います。

尚、来年度以降の補修に予算については、県会議員のご尽力をいただきながら、要望してまいります。補修箇所につきましては、川絵図を参考に地区区長と相談しながら、来年4月以降要望してまいります。



写真A 水ノ口大石



写真B 松野血流量水ノ口橋上流右岸農業用水路が埋まり



写真C 富士市北松野下平方面市道拡幅工事中現場

溝に大石が落ちて、またがり、水路をふさぐ形となる情報入手。現場確認。農政課連絡。(写真A)

7月10日頃、市当局より業者決定の情報入手。2日後、業者に早めの作業を依頼。7月23日頃、業者による大石の粉碎。撤去作業完了。2日後、大雨。早めの情報提供により未然

③ 血流量 農業用水路への土砂流入

7月の大雨により、写真Bのように埋まってしまいました。市当局に依頼し、1週間後、業者による根方区用水路の土砂除去と合わせて、水利委員会メンバーに出てもら

④ 7月の大雨は上記以外にも

半在家、中山、矢所、かぎあな地区の土砂崩れ、下平線道路の陥落(写真C)等松野かぎあな地区においても大きな被害がありました。

い、農業用水路の整備がされました。水利委員会の皆様お疲れさまでした。大北、佐野建設様、急ぎの仕事を入れていただきありがとうございます。

令和2年9月定例会 一般質問 発言順

順位	氏名	内容	日時
1	小野由美子	1. 小中学校における教育の情報化に伴う教職員への支援及びソフト面の充実について	10月5日 午前
2	望月 徹	1. まちづくりセンターにおける指定管理者制度と諸証明書類の発行業務について 2. レジ袋を燃えるゴミ専用袋として有効活用を	10月5日 午後
3	下田 良秀	1. 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた上でのこれからの社会を考えた富士市デジタル変革宣言について	10月5日 午後
4	藤田 哲哉	1. 市長への手紙、平常時ではない業務対応について 2. 協議記録の取扱いについて 3. 学校給食の公会計化について	10月5日 午後
5	高橋 正典	1. 集中豪雨による市民生活への災害対策について	10月6日 午前
6	佐野 智昭	1. ごみのない日本一きれいなまちを目指すためのマナー条例の充実と各種施策等の拡充について	10月6日 午前
7	鈴木 幸司	1. 教育自治と感染症対策(緊急時におけるレイマン・コントロールの停止について) 2. 地域通貨導入の可能性について	10月6日 午後
8	井出 晴美	1. 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行における対応について	10月6日 午後
9	荻田 丈仁	1. 民間企業、各種団体等との官民連携による協働の推進強化について 2. 須津川渓谷の積極的な整備活用と新たなアクティビティ推進について	10月6日 午後
10	笠井 浩	1. 富士市の飲食店等、人の集まる場所に対する新型コロナウイルス感染症拡大防止対策補助制度の創設について 2. 補聴器購入に対する補助制度の創設について	10月7日 午前
11	吉川 隆之	1. 大規模災害における身近な避難所の設置と運営について	10月7日 午前
12	海野 庄三	1. 不安・恐怖と隣り合わせのICT社会における小中学校等の安心・確実な情報配信について	10月7日 午後
13	長谷川祐司	1. 富士市内の記録的豪雨による被害状況及び今後の対応策について	10月7日 午後
14	小池 義治	1. まちづくりセンター等の会議室へのインターネット環境整備について 2. あらゆる制度はシンプルで分かりやすくあるべき 3. 富士市の地価はなぜ安いのか 4. スミドキウ-40の「やめどき」について	10月7日 午後
15	鳥居 育世	1. 富士市職員の旧姓使用について 2. 富士市におけるケアラーの実態について	10月8日 午前
16	山下いづみ	1. 多文化共生・国際化推進に向けて	10月8日 午前
17	太田 康彦	1. 新型コロナ時代の公園の在り方について 2. 吉原公園の再整備について	10月8日 午後
18	小池 智明	1. インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症予防対策と医療従事者等への支援について 2. 自転車通行帯の設置等による自転車走行空間の整備について	10月8日 午後
19	小沢 映子	1. 子供を性犯罪から守るには ～誰もが性的に健康である権利、そのための教育を受ける権利がある～	10月8日 午後
20	笹川 朝子	1. 生活保護は権利	10月9日 午前
21	遠藤 盛正	1. マイナンバーカードの普及状況と啓発について	10月9日 午前